

地域全体の将来像

10年後、20年後を見据えた「晴海台の将来像」について、班ごとにキャッチフレーズを考えてもらい、班ごとに発表。8つのキャッチフレーズが提案され、最後にみんなで1つに決めました。

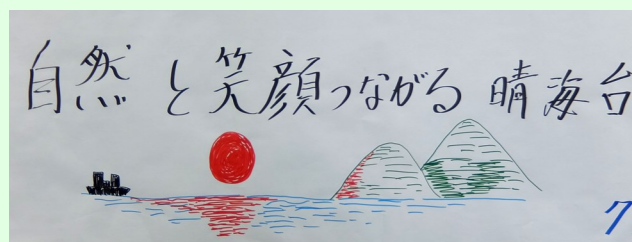
各班から提案された

将来像のアイデア

- ・自然と笑顔いっぱい夕日のきれいな晴海台
- ・お年寄りも若っかもんも笑顔の絶えない晴海台
- ・笑顔で安心して暮らせる夕陽のまち晴海台
- ・晴海台笑顔あふれる愛のまち
- ・和～人と人がつながる町晴海台～
- ・あの人もみんなで声かけ夕陽のまち晴海台
- ・自然と笑顔つながる晴海台
- ・ちょっと一声 輝く笑顔 夕焼け燃える晴海台



最終的に



に決めました！

プログラム

まちづくり計画素案を確認する

まちづくり計画素案の内容を5分野に分かれて確認しました。各分野について追加・修正・疑問がないか話し合いました。その後、各グループで話し合った内容を発表してもらいました。



※意見は内面に掲載



将来像を考える



10年後、20年後を見据えた「晴海台の将来像（キャッチフレーズ）」を班で考え、発表し、各班から出された8つのキャッチフレーズの中から投票して、決めました。

※詳細は内面に掲載

これまでの動き

平成30年7月に晴海台地区コミュニティ連絡協議会設立に向け、準備委員会を立ち上げ、これまでにコアメンバー会議を4回、準備委員会を5回、晴海台ゆうやけサミットを3回開催しました。

今後の予定

これまでの晴海台ゆうやけサミットで出された意見を準備委員会で整理し、理想のまちの姿や活動を示した「まちづくり計画」を完成させて、住民のみなさんに報告する予定です。

[参加団体]

晴海台自治会、社協晴海台支部、晴海台地区ふれあいセンター運営委員会、晴海台小学校PTA、消防団第55分団3部、三菱晴海台校区、晴海台小学校区子どもを守るネットワーク、晴海の親父、晴海台むつみ会、三和地区民生委員・児童委員協議会、晴海台小学校、晴武会、南陽の丘、三和幼稚園、南部地域包括支援センター

第3回

晴海台ゆうやけサミット

実施報告書



日時：平成**31**年**3**月**17**日(日) 午前9時半～12時

場所：晴海台地区ふれあいセンター 2階 第1研修室

参加者：57人

テーマ：「まちづくり計画の素案を確認し、全体の将来像を考える」

これまでの晴海台ゆうやけサミットで出された意見をもとにつくった、まちづくり計画素案を確認し、地域全体の将来像を決めました。

晴海台地区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会

まちづくり計画素案を確認する中で出た追加意見（一部抜粋）

第1・2回の「晴海台ゆうやけサミット」で出された意見をもとに、準備委員会で作成した「まちづくり計画素案」を班に分かれて確認しました。まちづくり計画は5つの分野で構成されており、分野ごとに分かれて合計8つの班をつくり、追加・修正・疑問点がないかを話し合いました。各班から出された意見の一部をご紹介します。

このまちづくり計画素案をみんなで確認しました！

子育て

今の課題・問題

- ・共働きの家庭が増え、地域活動できる人が少ない
- ・自治会活動等に参加する時に子どもを預かる場所がない

将来像実現のために必要な取り組み

- ・地域住民と先生方との子育てに関する話し合いの場が必要
- ・食を通じた交流イベントを行いたい
- ・放課後子ども教室で世代間交流
- ・子育てに関する情報を提供する場をつくる

福祉

今の課題・問題

- ・一人暮らしをする中で困った時に手伝ってくれる方がいれば…

将来像実現のために必要な取り組み

- ・自治会、各団体への参加促進
- ・コミュニティバスのルートの検討

交流

今の課題・問題

- ・自治会を退会する人が多い

将来像実現のために必要な取り組み

- ・転入者へ自治会加入の声かけをする
- ・40～50代のみなさんに地域活動に参画してもらう取り組みをする



自然・生活環境

今の課題・問題

- ・歩道に雑草が茂っている

将来像実現のために必要な取り組み

- ・案内板の管理責任の所在を明らかにし改修する
- ・公園の花壇に花を植える

防犯・防災

今の課題・問題

- ・避難場所、避難方法、家族との連絡方法等を知らない人がいる

将来像実現のために必要な取り組み

- ・消防団員を増やすために消防団のイメージアップ活動
- ・消防OB、民生委員、消防団OB、公務員OB等による地区災害助け隊の設立



分野	今の課題・問題	分野別の将来像	将来像実現のために必要な取り組み
			晴海台ゆうやけサミットで出された意見（一部抜粋）
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入のメリットを感じないという声も聞くので、自治会の役割や必要性を感じてもらい取組みが必要 ・自治会の役員は仕事が大変というイメージがあり、嫌う人がいるため担い手が不足 ・サロンに参加する人の顔ぶれが変わらないので、参加者を増やす工夫が必要 ・参加するための“一歩を踏み出せない”人が多い ・子どもを通じたつながりは昔あったけど今は子どもが少なくなって希薄になっている ・まちのPRが不足している ・住民の集う場所が少ない ・晴海台地域に共通して誇れる産品がない ・空き家が多い 	<p>気軽に声かけできるふれあいのまち晴海台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単に「自治会加入を」と呼びかけるのではなく、自治会の役割や必要性を含め身近に感じてもらえるよう、具体的な事例を示すなど工夫した呼びかけを行う ・現在の自治会班長の輪番のあり方などを再考し、役割分担の見直しにより負担軽減につなげる ・地域を住みやすくするための活動には、誰かが役割を担う必要があることをみんなに理解してもらえるよう周知していく ・役員経験者の体験談等を伝える ・隣近所の人へ声かけをする ・特に男性に地域に出てもらう工夫をする ・ためらわず自分から「人を誘う」 ・交流の楽しさを伝える ・「ラジオ体操」「歩こう会」の様な地域の人々が気軽に集まることができるイベント(定期的)をする ・HPや動画でまちのロケーション(鶴が見える、五島列島が見渡せる、夕日等の景色、漁火がきれい)をアピールする ・ふれあいセンターをもっと気軽に立ち寄れる交流スペースとして活用する ・特産品(晴海台まんじゅうなど)を作って話題づくりをする ・利用可能な空き家等の空きスペースを活用して、ゲストハウスや住民の趣味・得意分野を生かした活動スポットを創り出す
自然・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ガードパイプ等が老朽化していて景観的にも悪く、安全上不安 ・地区内の案内板(番地表示)が老朽化している ・心を癒す草花が身近な場所に足りない 	<p>みんなが癒される町づくりをめざして～空・海・緑・人～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と地域の役割分担を明らかにしながら、住民のできる環境整備は自主的に行う ・花を植える(バス停付近、メインストリートなど)
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・通院や買い物に行くときの交通手段が不便 ・福祉に関する情報が乏しい ・ボランティアの後継者不足 ・生活支援が必要な方の把握と支援 ・病院が少ないので病気にかかった時に不安 ・買い物が不便 ・ATMがないので不便 ・交通の利便性が悪い 	<p>“今日も元気？”～明るい笑顔で気軽な声かけ～ より生活の利便性や高めるための助け合う仕組みを創ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通院・買い物の際に利用できる移送サービス(ほほえみ晴海台)を作る ・福祉サービスの情報をしっかり共有できるしくみをつくる ・ボランティアに興味を持ってもらうため、今行われている活動へ声かけする ・支援が必要な方に対して理解を深めるための講座等を開催する ・ささえあいマップの作成に取組み、健康に不安がある方の緊急時の連絡網を作成する ・地域で購入できるしくみを検討する ・移動ATM誘致を検討する ・タクシーに乗り合わせて利用する等しくみを検討する
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・育成協、子ども会がなくなったので、人とのつながりが希薄になった ・集まる場として小学校の体育館を利用したいが修繕等整備が必要 ・小学校体育館を地元住民が優先して使えない ・交流が少ない(全世代の交流がない) ・コミュニケーションをとる場が少ない ・子育て(特に幼い子ども)に関する情報が伝わっていない 	<p>子どもの声が聞こえるまち 笑顔が一番多い町 大人の友達が多い町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の中で子ども関係の部会の設置により、活動計画を策定し、親子間や親子と地域との関わる機会をつくる ・今後も地域に開放する学校としていくため、必要な整備を行政に求めていく ・予約システムを改善し体育館利用の地元枠を確保する ・晴海台の子どもが誰でも集まる場(学校に行ってる子、行っていない子、障害のある子、ない子が集まる場)をつくる ・晴海台運動会など全世代参加型のイベントを開催する ・転入者の「歓迎会」を開催する ・子どもが意見を言える場(しゃべり場)を開催する ・赤ちゃん訪問をしている民生委員さんと連携する ・親へ子育てサロンを周知するなど情報発信する
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の不足 ・地域の人が危険箇所をよく知らない ・災害が発生した時の対策が必要 ・防災リーダー配置(地区ごと)が必要 ・道が暗く、街灯が少ないため、防犯カメラが必要 	<p>犯罪・災害のない安心・安全なまちづくり！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員を増員(女性も可)する ・防災訓練を行う ・自宅のできる防犯・防災の心得等を配布する ・防災講話(出前講座)等の定期的な開催により、防災リーダーの必要性に対する意識を高め、候補者の育成につなげていく ・自治会を通じた街灯の設置要望、防犯カメラの設置を検討する